

ふくだいプレス 26

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-05-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 福井大学広報センター メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10098/10199

[ふくだいプレス]

fukudai[★] PRESS



特集

福井の“学び”を 極める!

学生広報スタッフ企画 We Love♥福大

主役はアナタ! 福大フェス!

Vol. 26
2016
JULY

Interview

答えて! インタビュー

福大VOICE

今月のお題

あなたの夏ソングは？

福大生はどんな歌を聞いて夏をノリノリで過ごすのでしょうか？



嵐の「Summer Splash!」

Whiteberryの「夏祭り」

(左) 教) 学校教育課程2年 柳原理絵
(右) 教) 学校教育課程2年 綿貫佑華



三代目J Soul Brothersの「Summer Madness」

AAAの「LOVER」

医) 看護学科2年 西村美咲 田淵千花
平岩優花 村井加奈 下牧茜



ゆずの「夏色」

ZARDの「揺れる想い」

湘南乃風の「睡蓮花」

(後列左から時計回りに)
医) 医学科1年 小林文子 細谷萌 寺田志帆 石坂恵



サザンオールスターズの「勝手にシンドバッド」

(左から)
医) 医学科2年 浅野瑞穂 田中周 勝村公佳



backnumberの「わたがし」

JUDY AND MARYの「Over Drive」

ポルノグラフィティの「ハネウマライダー」

YUIの「SUMMER SONG」

(左から) 教) 学校教育課程3年 馬庭優奈
工) 機械工学科3年 野尻光人
工) 物理工学科2年 織田祥成
教) 学校教育課程2年 梯美弥



Silent Sirenの「BANG!BANG!BANG!」

miwaの「ミラクル」

ゆずの「夏色」

(左から) 工) 応用物理学科1年 金子大輝
工) 応用物理学科1年 南方一輝
工) 建築・都市環境工学科1年 岩附峻平



AKB48の「ポニーテールとシュシュ」

サザンオールスターズの「TSUNAMI」

湘南乃風の「純恋歌」

(後列左から時計回りに)
医) 医学科2年 崎尾啓 塩津大地
佐々木優 田口優太



阿部真央の「Believe in yourself」

嵐の「復活LOVE」

(左) 教) 特別聴講学生(交換留学生) リウ フェイ
(右) 教) 特別聴講学生(交換留学生) チェン スーチー



2 答えて! インタビュー
福大VOICE

4 特集 **福井の“学び”を極める!** **COC+**

8 学長メッセージ **AI時代を生き抜く「学び」とは**

9 Global IMAGINEERへの道をサポート
go go global!

10 世界にイノベーションを
研究者紹介

14 福大のエースにクローズアップ!
FACE

16 部・サークルを紹介する
IT'S MY CIRCLE

18 就活・進学応援情報
未来設計ノート

20 学生広報スタッフが企画
We Love♥福大

22 卒業生から在学生のみなさんへ受け継がれる
学びのバトン

23 **福井大学基金 寄附者ご芳名**

※掲載されている方の学年等は取材時のものです

表紙について



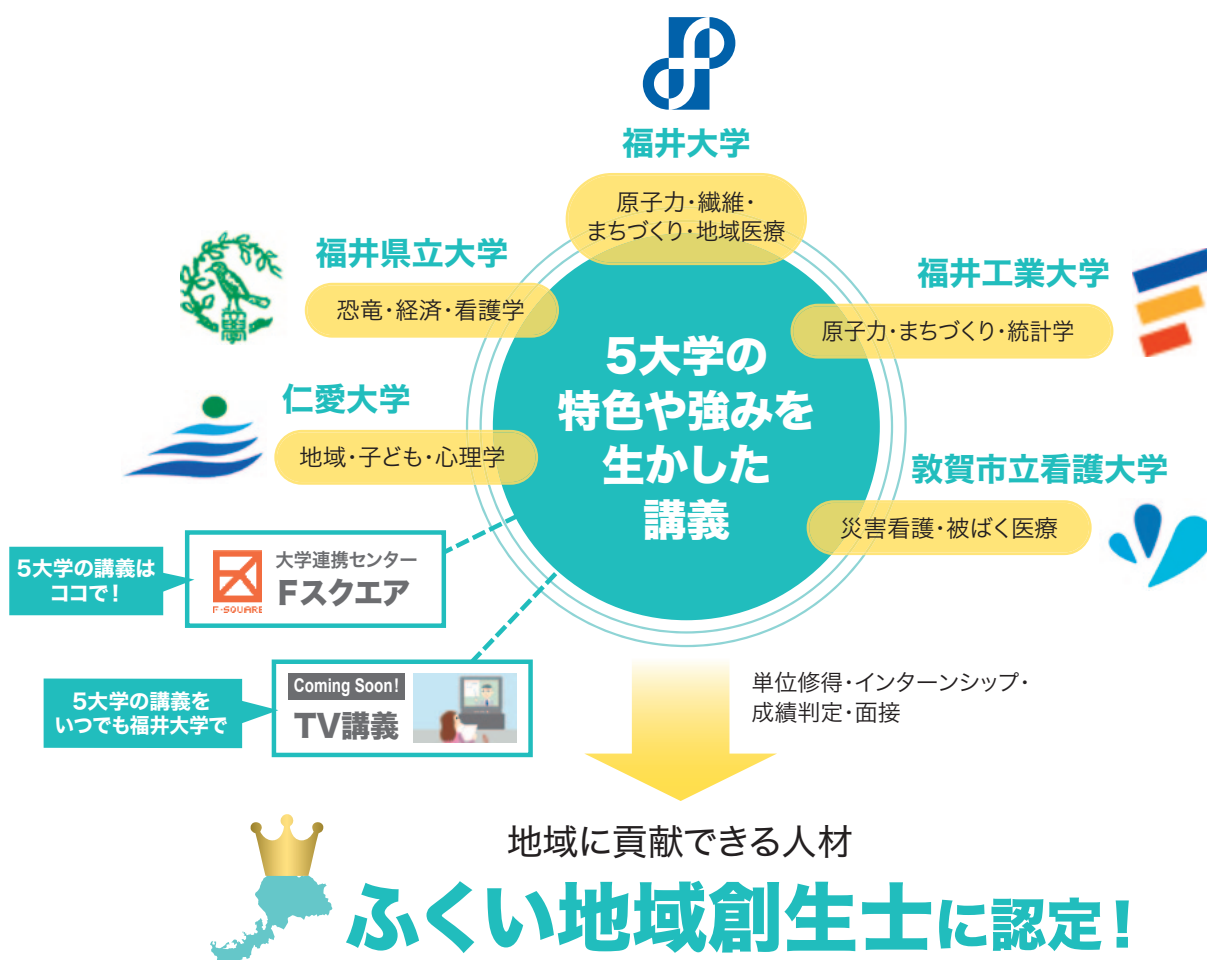
表紙学生

- 工) 生物応用化学科3年 池尻成範
- 工) 材料開発工学科4年 大久保俊
- 工) 情報・メディア工学科2年
加藤智也、島戸啓輔
- 工) 電気・電子工学科2年 松田陵

水上の格闘技、カヌーポロ。2年前の世界選手権でシード権を獲得し、今年の8月28日～9月4日に行われる世界カヌーポロ選手権大会に池尻さんが出場します。

福井の“学び”を 極める!

県内の5大学による新しい学びのカタチができました。4年制の5大学が連携する「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」により、それぞれの大学の特色や強みを生かしたカリキュラムを出し合い、「福井をもっと楽しむ、もっと好きになる、ずっといたくなる」授業や活動の場が誕生しました。福井県・産業界・医療界等も協力し、地域の持続的な発展とイノベーションを推進できる力を身に付けることができます。



あたらしい“学び”を地域の活力に

「ふくい地域創生士」にチャレンジすることは、地域の自然、食、文化、歴史・・・の素晴らしさ、面白い技術や産業などを学ぶこと。その学びのプロセスにおいて地域特有の課題を見だし、興味を持って学び、課題解決のノウハウを探索することから始めましょう。近い将来、「ふくい」を、そして他の地域を学んだ学生が集い・融合して化学反応を起こし、それぞれの地域はもちろんのこと、活気ある日本を作る担い手となってもらえることを期待します! 私たちも、地域を志向し“学び”を極める学生の皆さんの想いに応えられるように福井県・産業界・医療界と一体となって、「オールふくい」で皆さんをバックアップします。



COC+事業責任者・福井大学副学長
岩井善郎



ふくい地域創生士になろう！

STEP 1

福井を学ぶ！



①福井大学の共通教育の地域コア科目を受講し、指定の単位を修得します。

➔「地方創生福井モデルの事例研究—鯖江学—」「ふくいを知る、見る、考える」
「放射線利用—医学と産業—」など、一般教養科目・専門科目合計12単位以上。

STEP 2

福井を支える企業を知る！

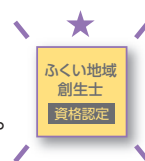


②県内にあるさまざまな企業に出かけ「見る・聞く・知る」を体感することで、自分の可能性を見つけ、幅広い視野を身に付けます。

➔ 県内企業等でのインターンシップまたはこれに類する取り組みへの参加。

STEP 3

「ふくい地域創生士」認定！



①②を満たした学生は、成績、面接等による審査を受けます。

➔ 合格すれば「ふくい地域創生士」資格認定！

※ 平成27年度以降に入学した学生が対象。就職活動時に活用できるよう、原則として3年終了時に認定を行います。

STEP 4

就活でアピール！



福井のものづくり、自然、歴史、環境、産業などを学び企業を知ることで、どのような課題に取り組むべきかを考えます。

➔ 就職活動の面接などで、アピールできるようになります。

さらに！その上を行く
認定資格を検討しています！

★★
「地域創生アワード^(仮称)」として選出されると
様々な特典を検討中 ※現在策定中のため、今後変更する可能性があります。

ふくい地域創生士の学び方





福井駅東口サテライトキャンパス

大学連携センター「Fスクエア」オープン

5大学の講義を AOSSAで受けて 単位を取ろう!



「ふくい地域創生士」の認定に必要な講義は、AOSSA7階の「Fスクエア」でも受けられます。5大学の人気講義が大集合!

ココに注目!

1 他大学の学生たちと
交流できます!



2 いろんな企画、展開があります!
最新情報はHPで。



3 交通費が支給されます(自家用車の場合)
送迎バスもあり!



Fスクエアは福井県内の大学生
が集う場所です。活気が溢れて
いますので、授業がなくても駅前
に来たときにはぜひ、一度立ち
寄ってみてください。



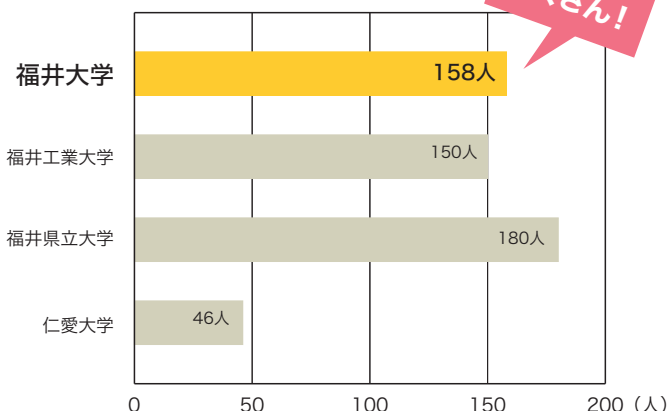
福井大学Fスクエア担当 中垣 聡

シャトルバス運行時間表

	文京C 事務局前	AOSSA
	←	→
運行曜日	文京キャンパス 発 (東口ロータリー)	AOSSA前 着 (東口ロータリー) → 文京キャンパス 着
3限 水曜	13:15 (福大停車時刻 13:00~)	15:30
4限 水曜/金曜	15:15 (福大停車時刻 15:00~)	17:30
5限 水曜/金曜	17:15 (福大停車時刻 17:00~)	19:30

(平成28年6月2日)

履修登録状況



受講生が
たくさん!

この講義に注目!

「これからの地方創生と経営学」

現役の商社マンを講師に、生きた経営が学べます!



大自然、伝統文化、グルメ等を活かした新規事業創出で、ヒト・モノ・オカネ・情報の循環をうまく活用して、夢・情報・ブランド・仕事を創ります。最先端の国際的ビジネスの発想を楽しく学べます。

伊藤忠商事株式会社
小島 慶藏氏



ふくい地域創生士の資格を取りたいと思い、必要な科目を受講しています。これまでは「地方創生」と聞いても、具体的なイメージができませんでした。先生の実体験に基づいた講義を聞いて、流通の仕組みがわかってきました。また、他大学の仲間と議論を深め、新しい視点を得ています。私は美浜町出身で、将来は地元の地域活性化に貢献したいと思います。

教) 地域科学課程2年 浜野 詩織



講義のポイント

- 福井の風土・特色をビジネスの視点から学ぶ
- 企業経営の理論を実践的に学ぶ
- 産学連携の成功事例をふんだんに紹介
- 実際に現場に出かけフィールドワークも

土曜も開講!

平成28年Fスクエア講義 時間割 〈H28.4~H28.7〉

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
第1限 9:30 ~11:00		ワークライフ バランス概論 (福井工大)				グローバル人材総合学 (県立大学「2コマ×8日」)	
第2限 11:15 ~12:45		医療事務 概論 (福井工大)				地域研究概論 (仁愛大学「2コマ×1日」)	
第3限 13:45 ~15:15	休 館 日		経営学概論 (福井大学) 英語特講 (県立大学)			東南アジアの言語と文化(一部、日曜開講) ータイ語を学んで、タイへ旅しようー (県立大学「3コマ×5日」)	まちづくり論 (福井大学「3コマ×1日」)
第4限 15:45 ~17:15			福井方言と標準語 (県立大学) 英語特講 (県立大学)	基礎統計学 (福井工大)		インターンシップ講座「留学生向け」 (県立大学「3コマ×5日」)	
第5限 17:45 ~19:15			実践恐竜学 (県立大学)	日本海地域の 自然と環境 (福井大学)		これからの地方創生と経営学 (福井大学「3コマ×5日」)	

土曜は
福井市の中心で
学ぶというのも
新しいスタイル!

履修方法は教務課・共通教育係まで



AI時代を生き抜く「学び」とは

学長 眞弓 光文

将棋や囲碁の世界で、プロのトップ棋士が人工知能（ＡＩ）との勝負に負けた。自動車も、人工知能による自動運転が既にほぼ可能となっている。このように、人工知能を中心とした技術革新により、将来、職業が大きく変わると予想されている。デューク大学の研究者デビッドソン氏が、「２０１１年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの６５％は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」と発言し、話題を呼んだ。我が国でも２０１５年に野村総研が、「１０年～２０年後には、現在、日本の労働人口の４９％が就いている職業が、人工知能やロボット等で代替可能になる」と、衝撃的な予測をした。少し前までＳＦ映画の世界だったことが、いよいよ現実味を帯びてきた。

心を豊かにし
「教養」を積み
人間力を磨くことが
重要です

このような時代を生き抜くには、機械に使われるのではなく、機械を使って仕事をする必要があるが、そのためにはどのような力が求められるのだろうか。機械を使いこなす知識はもちろん必須であるが、技術の進歩はいずれ機械を誰でも使える簡単なものに変えるであろう。それゆえ、逆説的と思われるかもしれないが、私は、心を豊かにし、人間性を高める、「教養」を積みこくことが重要だと考える。人工知能の技術開発がこれから加速度的に進んでも、他人の考えの奥を想像し、理解して、その人を説得したり、協調して働いたり、自己省察したり、社会の幸せのあり方を考えるなどの活動は、人工知能が苦手とする部分であり、人にこそ求められる「人間力」であろう。

学生諸君には、本学や地域が提供する様々な学びの機会を活用して、学業のみならず、多くの人と交わり、異なる考えや世界を知り、過去の人物や歴史に学んで、内的規範や科学的思考力を身につけて、社会がどのように変わろうともその中心で活躍できる真の力をつけていただきたいと願う。



go go global!

福井大学に留学しているイスラム圏の学生は約 40 名。
世界人口の 30%はイスラム教徒といわれています。
イスラム法に基づいた「ハラール」について紹介します。

ハラールって知っていますか？

東南アジア 各国の ハラールマーク例



マレーシア



インドネシア



シンガポール



フィリピン



タイ



ブルネイ

ハラール(HALAL)とは、アラビア語で「許されている」という意味。イスラム法で定められた基準を満たした肉、魚などの生鮮食品、加工食品にハラールマークがついています。イスラム教徒が豚肉を食べないことはよく知られていますが、アルコール類が添加されている醤油などや、生産方法がイスラム教の経典「コーラン」の作法が守られていないものも食べることができません。**世界中のどこに住んでいても、ハラールの規律を守って生活しています。**

日本人のみなさんから見ると、とても厳しく見えると思いますが、私にとってハラールは、親や学校から習い、子どものころから身についた、当たり前の習慣です。せっかく留学しているのに、日本料理を食べることができなくて、残念に思うことが多くあります。ハラールは守らないといけないですが、みなさんと一緒に日本料理を作ったり、マレーシア料理を楽しめたら嬉しいです！



工)材料開発工学科2年
アイザトゥル・アティラ・ビンティ・アタン

マレーシア出身

一番食べてみたい日本料理
すき焼き

HAPPY!

最近、生協にもハラールのコーナーができて助かっています。実は、福井にもハラールを提携するお店がいくつかあります。たまには、飲み会や忘年会にそういうお店を選んでくれると嬉しいです。ハラールの認証を受けた食材を買って、みんなでBBQもしてみたいです。



一番食べてみたい日本料理
焼肉

UNHAPPY

日本でハラールの認証を受けた商品の種類は少なく、輸入されたものが多いので割高になってしまいます。最も残念なのは、研究室の飲み会でみなさんと同じものが食べられないこと。

大学院工学研究科
博士前期課程 知能システム工学専攻2年

アミン・ムハマド・イリアス

バングラデシュ出身

生協にもハラールのコーナーがあるので、ハラールマークをチェックしてみましょう。スナック、ヌードルなどが販売されており、日本人学生も、もちろん購入できます。植物由来をアピールした商品が多いです。



マレーシア料理を学祭に出店しました。ケバブ、サモサ、ロティシヤラ、カレーなどの軽食は、どれもハラールの認証を受けた鶏肉などを使用しています。今年逃した人は来年ぜひ！



心と向き合い 自己治癒力を活性化



廣澤 愛子 准教授（臨床心理学）
Aiko Hirose

人間の心のすごさに 深く感動

1995年1月17日の阪神・淡路大震災で被災した経験が、私の専門分野の決定に大きな影響を与えました。ある日突然、当たり前の日常が非日常になる体験をすると、その出来事がトラウマとして残ることがあります。自らの経験を含め、過去のつらい体験をどのように乗り越えるかに興味を持ち、臨床心理学の分野に進むことを決めました。

心に病や傷を持った人への心理療法を通して支援をしながら、パーソナリティ（人格）の研究をしています。心理療法でよく使用する手法は、「箱庭療法」です。心理療法の対象者に、動物や木、人や家などのミニチュアを砂箱の中に並べてもらう。ただそれだけです。心の表現につ



動物や木などのミニチュアを並べた箱庭

ながります。何度も試行錯誤しながら箱庭を作ること、心の調整と再構築が行われ、心の奥底にあったものが表れてきます。

母親から虐待を受け、生きることの無意味さしか感じられなかった子が、過去の体験に自ら意味づけを行い、変わっていく

くのを目にしたとき、人間の自己治癒力に深く感動しました。臨床を通して感じるのは、人は心の底から実感しないと変わらないということ。心の自己治癒力がどういう環境で最も活性化するか、また、その環境をどう整えればよいかについて日々考えています。

学校現場の課題に 対するために

学校現場では、1クラスに2人程度の子ども（約6.5%）が発達障害の可能性があるとわれ、特別な教育的支援が課題となっています。そのため本学では、発達障害などが原因で社会適応が困難な子どもの支援に力を入れています。

教育学部の学生たちとともに運営している「楽集クラブ3・9・1」では、社会的自立につながる基礎力や実践力を育むことを目的にしています。成長に偏りがあり、人付き合いが苦手な子や、学校に居場所のない子が、学生と一緒に活動することで、自分の存在を確かめ、ありのままの自分を出せる場となるよう努めています。教員を目指す学生が、将来、学校現場での課題に向き合うための学びを得る場にもなっています。

将来的には、発達障害を持つ人の就労支援とともに働く周りの人への支援について取り組み、「共生」とはどういうことを突き詰めたかと考えています。

楽しみながら 主体的な4年間に

学生の皆さんと話していると、「成功するためにはすごく勉強しないといけない」「楽しすぎてはいけない」と少しストイックに考える人が多いように感じます。もともと楽に、ポジティブに考え、自分がより楽しめる方法でやっていいと思います。なんでも頑張るのではなく、自分の好きなことにエネルギーを注ぐ、また、自分が楽しいと感じることを見つけ、それを追いかける。そんな主体性を持った4年間にしてほしいと思います。

今ハマっていること★

キャンプやBBQなどアウトドアにハマっています。ホットケーキミックスを使ってバウムクーヘンを作ったりもします。



「楽集クラブ3・9・1」の活動を伝えるチラシ



患者さんにフィードバックできる がん研究をめざす

難治がんの克服めざして

日本人の2人に1人が「がん」になり、3人に1人が「がん」で亡くなる時代です。私が平成3年に研究を始めた当時、DNAやRNAという遺伝子レベルの研究は困難でしたが、近未来には治療において重要な鍵を握る時代が必ず来ると信じ、遺伝子と外科療法の両面から研究を進めてきました。

死亡数が最も多いのは、肺がんです。続いて、大腸、胃、脾臓、肝臓といった消化器がんが6〜7割を占めます。特に、大腸がんの死亡数は2012年には女性1位、男性3位となり、50年前に比べて8倍に増加しました。私はこうした患者数、死亡者数の多い難治がんを中心に、増加しつつある大腸がんをいかにして克服するか、研究と治療に取



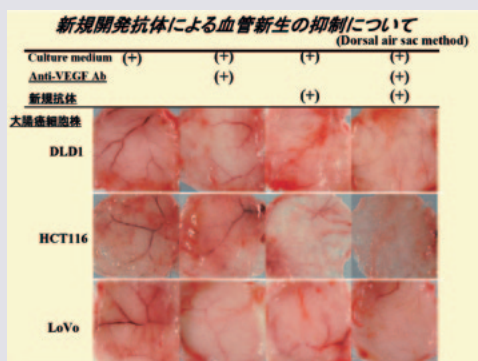
五井 孝憲 教授（消化器外科）

Takanori Goi

り組んでいます。

がんメカニズムの追求

がん組織の形成や転移、再発など、がん化の根源である「がん幹細胞」と、がん幹細胞からがん細胞が増殖する過程



大腸がん細胞株

で不可欠な「血管新生増殖因子」を研究のターゲットにしています。血管新生増殖因子の働くメカニズムを追究する中で、有効な「抗体」を見つけました。この抗体は、がん細胞を主に攻撃し、正常細胞を傷つけにくく、副作用の少ない、新たな「分子標的薬」につながるものが期待されます。すでに特許を取得しており、大手の製薬会社と創薬に向けた共同研究も検討中です。

高度な技術で患者さんに やさしい治療を

外科療法では、「腹腔内温熱化学療法」「腹腔鏡下手術」「肛門機能温存手術」を行っています。腹腔内温熱化学療法は、治療法が確立されていない「がん腹膜播種」の手術で、43度に温めた生理食塩水に抗がん剤を入れて腹腔内に灌流させる方法です。腹腔内が粘液で覆われる腹膜偽粘液腫や大腸がん腹膜播種において良好な成績が得られ、他大学からも見学者が訪れています。

腹腔鏡下手術は、炭酸ガスでおなかを膨らませ、直径5ミリ程度の穴を開けて内視鏡と鉗子、電気メスなどで病変を切り取る手術です。また現在、より細い鉗子を用いて手術創を小さくし、さらなる「低侵襲手術」に取り組んでいるところです。さらに、県内では福井大学だけがに行っている手術として、人工肛門を回避できる究極の肛門機

能温存手術も行っています。

今後、患者さんにとって負担が少ない治療を実現できるよう、外科療法の技術向上に努め、さらに、体に優しい治療をめざして、研究を進めたいと考えています。

医学を学ぶ学生たちには、常に現状の治療法に満足せず、今は解決していない問題であっても、正面から向き合う努力をしてほしい。その気持ちをずっと持ち続けてほしいと思います。



患者さんに役立つ研究をめざして議論を重ねます

今ハマっていること★



学生の頃は野球をしていて、昔から体を動かすことが好きでした。今は、ジム通いで運動を楽しんでいます。



みんなの地図で 街をデザインする



木曾 久美子 助教

(テニユアトラック推進本部)

Kumiko Kiso

頭の中にできる地図

これまで訪れたことのない土地に行くときは、カーナビや地図を頼りにしますが、通い慣れた大学や近所のスーパーまでなら、そんなものは不要ですね。これまでの行動と経験が蓄積された地図が頭の中にできているからです。普段の生活を送るうちに出来る上がる地図を「認知地図」といいます。私は、多くの人が作りあげた認知地図を実際の地図と照らし合わせて一つにし、人の行動に基づいた住みやすい都市のデザインに反映する研究を進めています。

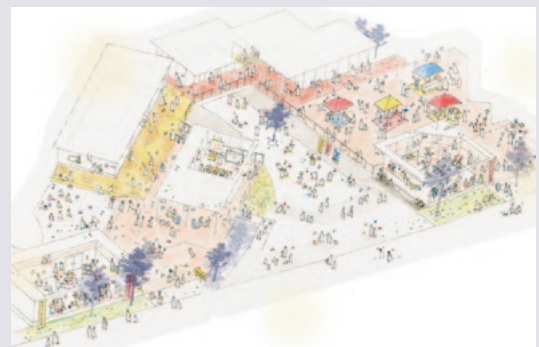
福大生の生活圏

大学の周辺に住む学生はどんな「認知地図」をイメージしているのでしょうか。福井大学の文京キャンパス、松岡キャンパス



文京キャンパスの学生が描いた認知地図

ス、福井工業大学の学生30人に協力してもらい、大学を中心に、自分にとっての周辺を地図に描いてもらいました。するとその土地の特徴が浮かび上がってきました。文京キャンパスの多くの学生は、福井市立図書館や高校、小学校などをポイントしており、大学周辺を教育施設が多い



地域の交流を考えた集会所のデザイン例

文教地区として把握していることがわかります。また、松岡キャンパスの学生は、大学や病院を中心に、バイパスなどの幹線道路や3・5キロ離れたショッピングモールなど広域の生活圏を描いており、車を使って移動している人が多いとわかります。

さらに、描かれた建築物が実際の都市空間とどのような関係性があるのか、建築物がどのように人の記憶に結びつくのかという点に注目して認知地図を解釈していくと、街のデザインを変更するときに、まちを活性化するためにはどのような関係性を生みだせばよいのかを設計することができるようになります。

このようにして認知地図と実際の地理空間とを地理情報システム(GIS)を用いて照合し、住む人のイメージに沿った街をデザインするためのデータを蓄積して

います。行動や認知の空白部分を探索することで、防犯や防災の対策マップ作成の参考にもなるでしょう。

さあ、街に出かけよう

学生のみなさんには、もっと街に関わって欲しいと思います。大学とその周辺といった狭い地域だけでなく、もっと行動範囲を広げ外を歩いていると、偶然の出会いがあり、まちの小さな変化にも気付けるようになります。こういった街歩きが、地域の防犯につながっているという研究報告もあります。

何より、自分が知らない街のコミュニティを知り、新たな人との繋がりが生まれたら、キャンパスライフもずっと楽しくなりますよ。

今ハマっていること★

私が大学で建築学科に進学した理由は、もともと絵が好きだったからです。今もいろいろな絵を描きますが、これが建築デザインの時だけでなく、学会での研究発表の時や、授業の時などにとっても役立っています。言葉ではわかってなくても、絵をみたらなんとなくわかる、ということとはどんな場面でもあるようです。





国際経験を活かし 世界のシステムを巨視的に研究

専門が無いのが専門

ご縁あって福井大学に来るまで外務省に40年間在籍していました。本省の役人や、在外公館の外交官としてだけでなく、国際機関や研究所などで様々な仕事に携わりました。どの国や地域、分野が専門ということではなく、ジエネラリストでした。まあ専門がないのが専門のような人間です。

世界中の人すべてで構成される国際社会というものは、大変多面的で複雑です。これを理解するには、歴史、法律、政治、経済、社会、文化、あるいは外交、機構、理論、コミュニケーション等々、様々なアプローチがあります。私の授業では、みなさんがそれらを俯瞰して横断的・学際的に学び、おぼろげながら世界のイメージを掴んだ上で、取り組



細谷 龍平 教授
Ryuhei Hosoya

みたい専門領域を見出してもらえればと思います。私自身は、世界のシステムを巨視的に研究したいと考えています。

「ローバリゼーション」とは

授業では、知識・理論のみならず、実



ミャンマーでアウンサンスーチーさんと

践的な課題探求型学修（PBL）を取り入れます。特に、世界のグローバル化が進む中で、地域がどう特色を出すかという意味で「グローバル化」が最近身近な言葉となりました。しかし、グローバル化と同時に、地域発の技術やアイデアが、全国、さらには世界に広まるというメカニズムも働きま

す。現に福井県には、紡織などの伝統産業、原子力安全、水月湖の年縞、あるいは坂井市丸岡町の一筆啓上賞など、経済・技術、自然、文化など各分野にわたって重要な資産がたくさんあります。これらが地域から世界レベルに発展するプロセスを、「ローバル化（仮称）（Globalization）」と名付けて研究・理論化し、また、みなさんとの学修を通して、実践につなげ、地域社会への提案も試みたいと考えています。

**Think out of the box /
don't put your eggs in
one basket (yet)**

大切なのは、広く見聞して、固定観念にとらわれない柔軟な発想を保つことです。国内・外にかかわらず、みなさんは今後様々な人々と関わるようになります。文化的背景や、考え方の異なる人達と、対話・調整し、互いに考えを発展させる中から新しい境地に到達するというプロセスが重要です。それがあって初めて人類の文明は前進しま

新しい世界像

グローバル化への理論的アプローチ

A New Image of The World
Theorizing Globalization

今井隆吉
細谷龍平 編著

世界平和研究所



世界平和研究所での研究成果を本にしました

★ハマっていること★

FacebookやLINEを使って発信することにハマっています。これまで各地で得た交友関係を保ちながら、実世界と、デジタル空間とをどう組み合わせ生きていくか、日々、試行錯誤を続けています。



青少年地域活動奨励賞を受賞



教育地域科学部
学校教育課程3年（※）
山本凛さん

教育地域科学部学校教育課程3年の山本凛さんが5月21日、地域に密着した青少年の健全育成促進および県内の子ども会活動の振興に寄与することを目的とする、福井県教育委員会の青少年地域活動奨励賞を受賞しました。

各地域の子ども会では、活動をサポートし、地域の子どもリーダーを育てるため、中・高生のジュニア・リーダー、大学生や社会人のユース・リーダーが活躍しています。

小学6年生の時に参加した、敦賀市と北海道小樽市の交流事業で、子どもたちを引率したジュニア・リーダーに憧れ、自らも敦賀市でジュニア・リーダーの活動に参加することを決めた山本さん。自主研修会等を通じ他のリーダーと意見交換しながら活動の幅を広げ、地域の子ども会活動を盛り上げました。

高校2年生の時には敦賀市ジュニア・リーダーズクラブ会長に就任。研修会の内容や会議資料作成で忙しくなりましたが、時間の使い方を見直し、学業との両立を果たしました。大学生になってからは、ジュニア・リーダーを支援するために平成24年度に設けられた福井県ユース・リーダーとして、指導・育成する立場に。16～26歳の学生や社会人が参加しており、普段あまり接点のない世代と交流できるのが楽しいとのこと。

山本さんは「私のこれまでの頑張りを知ってもらえたことが嬉しい。ジュニア・リーダーが少ない地域もあるので活動をもっと盛り上げていきたい」と意欲的。「将来、教員となってからも、子どもの気持ちや考え、動きに触れた経験を活かしていきたい」と語ってくれました。



研究会に参加したジュニア・リーダーとユース・リーダー

※教育地域科学部は平成28年度に教育学部、国際地域学部に変更しましたが、平成27年以前に入学した学生は、現在も旧学部所属しています。

CE

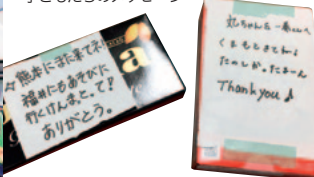
福大のエースに
クローズアップ!

熊本地震被災地で災害ボランティア活動



ボランティアミーティング

子どもたちのメッセージ



医学部医学科 有志30名

4月14日に発生した熊本地震は、各地に甚大な被害をもたらし、被災された方々が日常を取り戻すまでに多くのボランティアの支援が必要です。

県災害ボランティア支援センターの募集に応じた医学科1～6年生の有志30名が5月1日から3日間、災害看護学の酒井明子教授らとともに被災地・熊本県西原村に向かいました。

学生は4つの班に分かれ、小中学校などに開設された各避難所で、ノロウイルスなどの2次感染を防ぐための「清掃」と、被災者の疲弊を少しでもやわらげようと「足湯」の活動をすることに決めました。特にトイレ掃除には気を配り、午前と午後の2回、念入りに行ったほか、被災者の方が少しでも疲れがとれるように、手のマッサージをし

ながら足湯に浸かってもらいました。

活動中に気が付いたのは、限られたスペースの中で過ごす子どもたちのこと。運動不足とストレスが軽減できるようにドッジボールやサッカーなどの外遊びに誘いました。

「被災地では、一人ひとりが自分の行動に責任を持っていれば、それぞれの視点で学生でも役に立てることは必ずあることを実感した」と話すのは、参加した木村依音さんと丸尾亮平さん。「思いがけず宿泊先のお寺と近隣住民の方たちが60人分ほどの手づくりカレーライスを振る舞ってくれたことや、子どもたちが帰りのバスを走って追いかけてきてくれたことが嬉しかった。短い期間でしたが被災地の方々と交流し、元気を与えるはすが、私たちが元気をいただきました。地元の人とつながり、何を求められているのか知ることでも大事だと感じました」と振り返りました。

今回の経験から、「活動を継続するのが一番大切なこと。夏休みを利用して何かできないかをみんなで話し合っていきたいです」と今後の活動に意欲を見せていました。

足湯に浸かる被災者の手をマッサージ





大学院工学研究科博士前期課程
情報・メディア工学専攻2年・1年

石橋拓己さん
多保田耕平さん

受賞式の様子（写真提供／Photographer：高橋睦美）

和歌山県白浜町で開催された「第11回情報機器管理コンテスト」（主催：サイバー犯罪に関する白浜シンポジウム実行委員会）で、大学院工学研究科博士前期課程情報・メディア工学専攻2年の石橋拓己さん、同専攻1年の多保田耕平さん、沖縄工業高等専門学校、金沢工業高等専門学校の有志2名により結成したチームが、最優秀の「経済産業大臣賞」を受賞しました。

このコンテストでは参加チームが情報セキュリティ企業のコンサルタントになり、顧客側から出されるパソコン動作の不具合やネットワークの問題、ウィルスに関する問題などに対応しました。顧客から状況を聞き取りながら、対策の方法手順を伝え、報告書類を作成後、顧客にフィードバックし、その迅速な対応力や判断能力を競いました。第3次

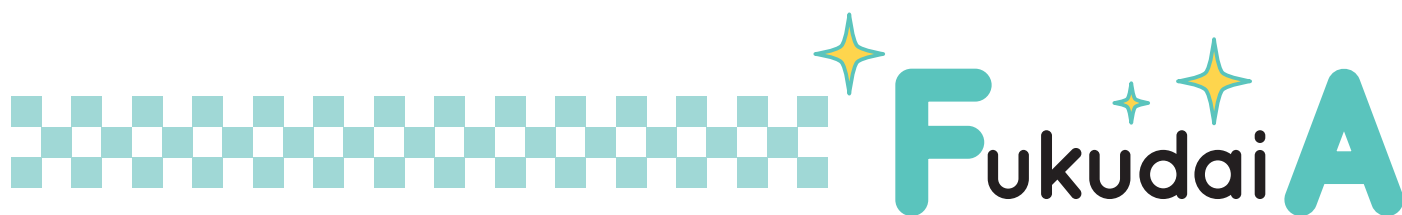
審査まで行われ、第2次審査までは、20チームの強豪校が参加し、競技者の居住地から遠隔操作で行われました。

昨年、この大会に出場した石橋さんは、チームのメンバー1人ひとりの分担が明確でなかったために迅速な判断ができず、2次審査で敗退しました。その経験をもとに、今年は「顧客との電話対応」「報告書の作成・記録」「改ざんされたホームページなどの復旧作業」「問題をたどり、原因究明」の4つの役割を分担し、少しでも早い意思決定ができるチームを編成しました。

最終の3次審査は5チームが挑み、6時間にもわたる大熱戦。「勝敗のポイントは顧客のやりやすい作業を提示し、ビジネスに悪影響をなるべく出さずに課題をクリアすることでした」と石橋さん。「強豪校ぞろいの中での受賞は嬉しい。技術力にはそれほど差が出にくいのですが、原因や課題を細かく記録した報告書類が評価された」と喜びを語ってくれました。



競技の様子（写真提供／Photographer：高橋睦美）



（左から）
国際地域学部
国際地域学科1年

平野華さん
安江詠星さん
西澤隆希さん
藤堂智江さん

教育学部附属小学校6年の2クラスを対象としたストーリーテリング（絵本の読み聞かせ）に、国際地域学部の4名が挑戦しました。後期から始まる「課題探求プロジェクト」のプレイベントとして実施したもので、国際地域学部のケリー・キング准教授の指導のもとに行われました。

入学してまだ2カ月しか経っていませんが、絵本を各自持ち帰り、自宅で英語の読み聞かせを練習。使用した絵本はアメリカの子どもたちに人気の『Rainbow Fish（にじいろのさかな）』で、虹色に輝く鱗を持つ魚が、ある仲間からの助言をきっかけに、自分のきれいな鱗を仲間にもプレゼントし、友達と分かち合う喜びを知るストーリーです。

本文では「輝く」という表現だけでも、Sparkling, Shimmering,

shiningなどが使われており、学生たちは、場面にあわせて表情を変えたり抑揚をつけ、工夫を凝らしながら読み聞かせました。小学生から気になった場面などを丁寧に聞き取りながら、「どの場面が一番よかった?」「この色は?」と、日本語と英語を交互に使いながら、単語の意味や感想を聞きました。

参加した学生は「子どもたちが目を輝かせながらいろんな質問をしてくれて、楽しかった」「反応を見ながら対話をする中で、英語のコミュニケーションについて考えさせられた。何回かストーリーテリングを行いながら、課題を見つけて取り組んでいきたい」と、今後の目標を見出していました。



小学生と感想を話し合う

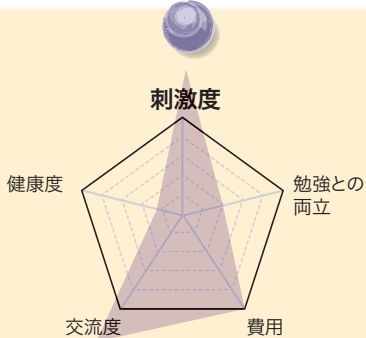
学内には体育系・文化系あわせて120近くの部・サークルがあり、福大生の半数以上が所属しています。
超有名な!? サークルから意外と知られていないサークルまで、さまざまな部・サークルをご紹介します!

●『IT'S MY CIRCLE』に登場したいサークルのみなさんは広報室までご連絡ください。E-mail: sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

文京

フォーミュラカー製作プロジェクト(FRC)

今年のテーマは
「Soul Beat Formula」



刺激度

健康度

勉強との両立

費用

交流度

【活動日】 不定期

【活動所】 1. 工学棟2号館となり
機械実験室1-17
2. 機械実験室1-17横のプレハブ

【部員数】 28名(男27:女1)

【ハイシーズン】 夏

ホームページ <http://fukui-frc.jimdo.com>

マシンを作り、熱くなる!

福井大学フォーミュラカー製作プロジェクトは自動車競技用のレーシングカー(フォーミュラカー)を製作し、2006年に全日本学生フォーミュラ大会に出場してから、今年で10年を迎えます。

毎年、夏休みに行われる「全日本学生フォーミュラ大会」に出場に向け、メンバーが1年かけてフォーミュラカーに全力を注ぎます。この大会は、国内外90の大学が挑戦し、走行だけでなく、フォーミュラカーの構想・設計・製作、車両の耐久性や走行性能、車両コンセプト、プレゼンテーションなど総合力を競っています。毎年、製作にかかる費用は秘密ですが、これもメンバーが、活動を理解してもらいながら、加工・部品メーカーに材料の提供などをお願いし、スポンサーを探しています。「コスト面を考慮しながら、どうやって最良のマシンをつくったら良いかを考えることになり、社会勉強になる」と代表の小原怜さんは話します。

今年のメンバーは総勢28名で情報メディア工学科2名、電気電子工学科1名で多くは機械工学科に所属していますが、ものづくりに興味があれば文系・理系は問いません。特に、唯一の女子メンバー日下部杏さんは「女子トークができる、女子メンバー急募!」と大歓迎。

製作活動のほかに、滋賀県にある琵琶湖スポーツランドに行き、レーシングカートで疑似レースをしています。ここで良いタイムを出した人が今年のドライバーに決定しているとか。小原さんは「週一で日産自動車のOBの方から指導を受けることができるので、自動車の仕組みをより深く、より好きになります。ものづくりをしてみたい人にもぴったり」と話してくれました。

扱いやすく楽しい車両でありながら、神経をゾクゾクさせて、魂を刺激する「Soul Beat Formula」が今年のFRCのテーマ。今年は全チームの中で、上位20位に入ることが目標です。



昨年の全日本フォーミュラ大会



オフはスキー・スノボを満喫

部員
募集中!

クルマ好き、集まれ!

代表 小原怜さん





松岡

医学部水泳部

「練習」「部めし」「部遊び」の3セット!



水泳だけじゃない!? 水泳部

医学部水泳部は、昨年7月に行われた「第67回西日本医科学生総合体育大会(西医体)」女子準優勝、8月には「第14回西日本コメディカル学生水泳競技大会」女子3位の好成績を挙げました。今年の目標は、男子はそれぞれに「ベストタイム」を出すこと、女子は「西医体優勝」をめざしています。お互いが強力なサポーターとなり、部員一丸となって目標に向けて練習しています。

練習は、「初級・中級・上級者」に分けたメニューを考え、経験者がコース別に指導しているので、入部時はまったく泳げなかった部員も泳げるようになります。夏には文京キャンパスの水泳部と合同で、泳者を30分ずつ交代しながら24時間泳ぎつづける「24時間耐」にもチャレンジしています。

活動の基本は、「練習」「部めし」「部遊び」の3つを必ずセットで行うこと。練習後の「部めし」は全員が入れるお店がありません。仕方がないので2カ所に分かれますが、「部遊び」は全員で行います。その都度アイデアを出し合い、多数決で“今日の遊び”を決めます。童心に帰って、鬼ごっこやかくれんぼにも本気で挑みます。バーベキュー、遠足などのイベントも盛りだくさん。他大学水泳部との合同合宿もあります。この合宿、なぜか水泳のことは忘れて、ひたすら色々な球技に没頭するという面白い企画になっています。

医学部サークルの中で1、2を争う大人数ですが、3年生全員が幹部となり、総括する部長をはじめ、練習部長・宴会部長・思い出係など、それぞれが担当を持ち、チームワークも抜群。練習も遊びも全力をモットーに、フルシーズンで活動中です!



練習風景



準優勝した第67回西医体表彰台



部員募集中!

初心者から経験者まで、
みんなで楽しく泳ぎましょう!

部長 幸明克典さん(左) 高木麻紗子さん(右)



就職か進学か、迷っている人も多いでしょう。どのように進路を決めたのか、先輩のアドバイスに耳を傾けてみませんか。今回は大学院進学の魅力について、大学院工学研究科博士後期課程に在籍中の平居嵩朗さんにお話を聞きました。

未来設計ノート

MIRAI SEKKEI NOTE



OB・OGインタビュー

大学院工学研究科
博士後期課程 総合創成工学専攻3年

平居 嵩朗 さん

(2012年工学部機械工学科卒業)

進学して初めてわかった 大学院の恵まれた研究環境

現在、総合創成工学専攻博士後期課程の3年目です。専門は振動工学で、機械の動作によって振動を受ける部品の接合部分が摩擦の力で減少していく現象をシミュレーション予測する研究をしています。研究をやればやるほど興味が深まり、没頭すると時間の経つのも忘れてしまいます。それくらい充実した毎日を送っています。

大学に入学した当初からなんとなく「大学院へ進もう」と思っていたのですが、それが明確な意志に変わったのは研究室に配属された大学4年の時です。恩師が振動工学の専門で、研究をやり始めるとどんどん面白くなり、卒論の目標に掲げた成果を出すにはとても1年では足りないと感じました。「この研究を続けて世の中の役に立ちたい」。その思いから大学院進学を決め、さらに研究を突き詰めるため後期課程に進みました。

単位を取るために講義を受ける学生時代と、主体的に学び研究する大学院では、密度が全然違います。私は研究を進める中で、自分が本当にやりたいことを見つけ、研究を柱とした将来設計を描けるようになりました。就職か進学かで悩んでいるならば、大学院へ進んだ方が絶対にいい。研究だけに没頭できますし、自分の専門外でわからないことがあれば他分野の先生にすぐに聞きに行けます。会社に勤めながら研究をしている同世代の人と会うと、いかに恵まれた環境にいるのか実感できます。これは大学院に入ってみないとわかりません。

振動工学に関連した企業への内定が決まっていますが、研究を極めればそれを生かせる就職のチャンスはたくさんあると思います。大学院で企業との共同研究をしていた院生がその企業に就職するケースもあります。



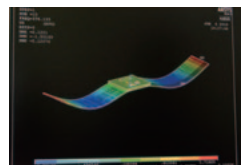
PROFILE

ひらい・たかお

2014年大学院工学研究科機械工学専攻博士前期課程修了。同年4月に工学研究科総合創成工学専攻博士後期課程に進学。滋賀県出身。

MY RESEARCH

振動解析ツール



1日の流れ

10:00	研究室へ、メールチェック 研究、論文執筆
13:00	打ち合わせ
14:00~15:00	昼食
15:00	研究、論文執筆
19:00	帰宅

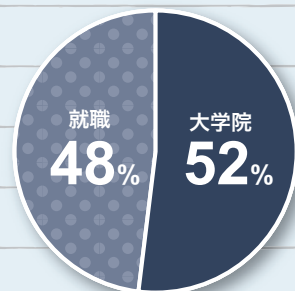


工学部教授 末 信一郎

自由に研究できるのは、今しかない！

大学院と言ってもまだ遠く先の存在だと思っているでしょう。しかし、4年生になればさっそく進学か就職の選択を迫られることになります。**3年生の後期には何となく進路については考えておかないといけないことを考えるとあまり時間はないですね。**また、大半の学生諸君は、この選択についてあまり熟慮せずに周囲の雰囲気流されて自分の進路を決定しているのではないのでしょうか。大学院については、社会ニーズの高まりやスキル向上などいろいろとされていますが、ここでは、私なりの大学院進学意義について述べてみたいと思います。

2015年度 工学部進路状況

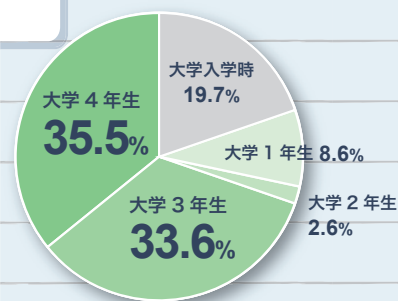


Q いつ、大学院進学を決めた？

大学院のココが
スバラシイ!①

専門の技術者は 大学院修了者！

まず、現在の複雑な**科学技術社会における専門職としての技術職を担うのは基本的に大学院修了者だ**ということです。大手企業の技術開発担当者に、学部卒と院修了者について語ってもらったことがありますが、**研究開発のほんの入り口をのぞき見てきた人が学部卒、実際に中に入って体験してきた人が院修了者だ**ということです。大学院での学術研究というのは、自分で問題点を見出して実験計画を立て、結果を判断してさらに次につなげていきます。



大学院のココが
スバラシイ!②

グローバルな人材に！

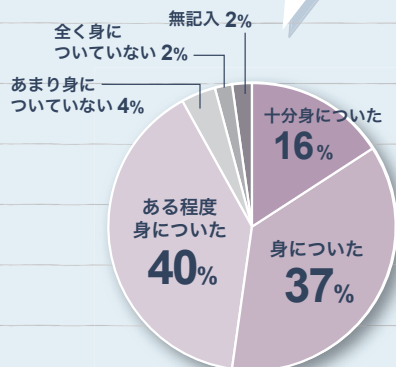
研究と言うのは世界で一つのものを目指すわけですから**必然的にグローバルなフロンティアに立っていること**になります。こうした体験が自発的な問題解決型産業人材(に限らず社会全般での人材)に育っていく過程と言えます。

大学院のココが
スバラシイ!③

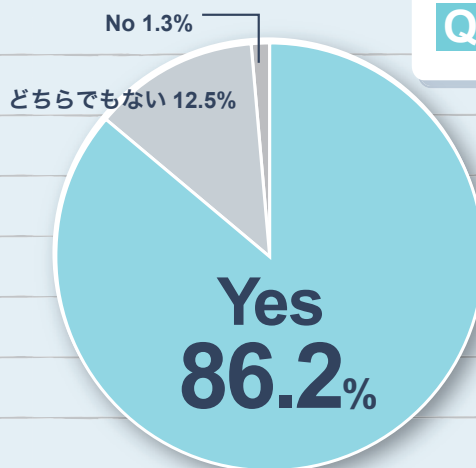
好きな「研究」が できるのは大学院だけ！

最後に私から敢えて言いたいのは**自分の思いで自由に思い描いた「研究」を遂行できるのは長い人生の中で、よほどのことが無い限り、この一瞬しかない**ことです。社会に出れば、利潤の追求や消費者ニーズなどいろいろな制約が社会のもとして個人に課せられます。諸君の若い力を大学院での研究に思い切りぶつけられるのは今しかないのです。

Q 大学院で高度専門職業人としての課題探求・問題解決能力、自己学習力は身につきましたか？



Q 大学院は、良かった？



LET'S ENJOY!!

福大フェス!

主人公は
アナタ!

福井大学の祭りを大特集!
私たちみんなで作りあげる
最高のお祭りです! みんな
で一緒に盛り上がりよう!



fu:fes

福大が熱い!!

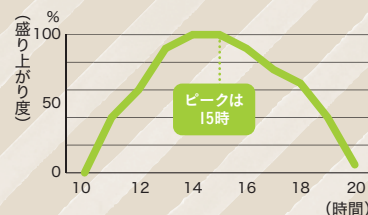
大学生活の中でもひととき大きな光を放つイベントが「大学祭」です。福井大学では「fu:fes」として、年に一度キャンパスが賑わいます。来場者は他大学生や高校生、社会人まで幅広く、各団体・サークルが趣向を凝らした模擬店や展示、ライブなどを催し、文京キャンパスは熱気であふれます!他にも、よっしゃこいが迫力あるパフォーマンスを披露して観客を魅了したり、管弦楽やアカペラ、ビンゴ大会、クイズ大会、ミスター&ミスコンテスト等が開催され、キャンパス全体で盛り上がっています。

毎年5月最終土・日

私たち実行委員はfu:fesを福大生だけでなく、地域の人々にも楽しんでもらいたいという思いを込めて企画しました!

実行委員

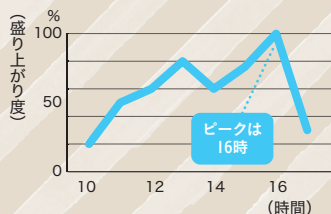
(左)松宮玄季さん(右)大杉谷海地さん



ふくい合同学生祭

大学の枠を超えて!

6月25、26日に坂井市三国町の芝政ワールドで「ふくい学生祭」が開催されました!学生が主体となり、大学の枠を超えた交流を目的に行われました。実行委員会の学生代表を務めた青山泰之さんは「他大学の学生同士が仲良くなってくれたらうれしいです。盛り上がりポイントはウォータースロンと『せりかな』と『AquaTimez』のライブです」と話してくれました。



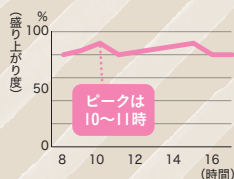


オープンキャンパス

福大を知りつくそう!

「大学ってどんなところなんだろう?」「大学生ってどんな生活をしているんだろう?」といった疑問に答えるよう、授業体験や現役生のキャンパスライフを紹介しています。大学の楽しさを高校生に伝えるのは私たち学生にとってもいい機会です。

2016年8月9日(文京) / 8月10日(松岡)



語学センターパーティー

イベント好きにおすすめ!

7月 セタイイベント ハジケ度 ★☆☆
10月 Halloween Party はしゃぎ度 ★★☆☆
12月 Christmas Party はしゃぎ度 ★★☆☆

この他にもたくさんのイベントをしています! 最新情報は、語学センターのfacebook or twitterまで!



広報スタッフがブログを随時更新中。ぜひ見てね! また、学生広報スタッフを募集しています。興味のある方はホームページまで。

ブログ「うらら@ふくだい」



暁祭

活気全快! 医学部生!

将来医療に従事する医学部生が、この日だけは羽目を外して楽しむ暁祭。部員たちは、部活のユニフォームやコスプレをしてそれぞれの露店を盛り上げ、元気な声飛びかう活気あふれた雰囲気包まれます。

2016年10月中旬



福井フェニックスまつり

県内最大のフェス!

フェニックス花火、YOSAKOIイッチョライ、100万人のためのマーチングによって構成される、県内最大の祭りです! 駅前周辺で開催され、毎年多くの人で賑わいます。

2016年8月6・7日

HISTORY

福井フェニックスまつりは、昭和29年に「福井まつり」として始まった夏祭りです。戦災、震災、水害、雪害などの相次ぐ苦難からの復興を祈念して、福井市を「不死鳥(フェニックス)」にたとえたことに由来します。



故郷の水害で深まった 災害看護を探究する心

福井大学医学部看護学科臨床看護学講座
成人・老年看護学 助教

さか い あき ひさ
酒井 彰久さん

平成27年度 福井大学大学院医学系研究科修士課程
看護学専攻災害看護専門看護師教育課程 修了

医療現場を知り 看護の学びを深める

2010年に福井大学を卒業し、看護師として、医学部附属病院の脳外科に6年間勤務しました。大学院に災害看護専門看護師課程が設置された2013年から同課程で学び、今春、最初の修了生となりました。今年4月から看護学科の助教として、後輩の教育と研究にあたっています。

脳外科病棟で看護師の仕事をしていたころは、脳の障害などで体に麻痺が残る患者さんが少しでも自分の力で生活できるようにサポートしていました。元氣になって退院されていく時やお礼を言われた時は、看護師の仕事に就いて本当に良かったと思いました。

大学の同期生は60人で、このうち男性は私を含めてわずか5人。医療の現場ではまだまだ数は少ないですが、男性だからこそ感謝されることもありま

災害看護専門課程での 実践的な学びが役立つ

看護師として働きながら夜間の災害看護専門看護師課程の講義を受けるのは大変でしたが、大きな成果を得ることができました。東京の日本赤十字看護大学、日本赤十字広島看護大学でも



野球部だった学生時代(賞状を持っているのが私です)

同じ時期にこの課程がスタートしたのですが、日赤の両校が28単位なのに対し、福井大学は38単位です。単位数が多い分、看護理論など一般的な講義に加え、災害現場での看護、健康維持に関する実習をはじめ、より実践的な科目が多く盛り込まれています。

熊本地震の被災地では、学生、大学院生とともに支援活動に携わりました。大きな揺れが相次ぎ、余震に身構えながらの活動でしたが、被災した方たちの窮状を目の当たりにして災害看護の重要性を改めて確認させられました。被災地では、仲間とともに被災者の健康上の問題を整理し、解決を図る上でこれまでの学びが大いに役立っています。

災害に備える意識を 学生に浸透させたい

災害看護に興味を持ったのは、大学在学中に酒井明子教授の講義を受けたことがきっかけでした。大学3年生の時



実習で川口めぐみ講師らと

水害に遭い、被災状況の調査を卒業研究のテーマにしたことで災害看護への関心は一層深まりました。時を経て熊本で被災者に接し、私自身も余震を経験して、「いつ、どこで災害が起こるかわからない」という思いを新たにしています。今後はその意識を学生たちに浸透させ、いざという時に病院内の患者さん、病院内の被災者を守る最善の方法をとれるようにしたいと思っています。また、酒井教授のもとで災害看護をさらに探究し、研究成果を発信していきたいですね。

医学部は附属病院の病棟に近いので、最先端の医療に接する機会が多く、図書館も24時間利用できるのも、学びの環境が充実しています。

看護師を目指す学生の皆さんには勉強だけでなく、いろいろなことを経験し視野を広げてほしい。時として患者さんは思っていることを口に出せないこともあります。患者さんに寄り添い心を通わせる、そんな看護を実践するための力を高めてください。



福井大学基金

学生の皆さんへの修学支援のため、
福井大学基金へ多くのご厚意が寄せられています。
ご支援に対し、心より御礼申し上げます。

今号では、平成28年3月1日から6月15日までの寄附報告
及びご寄附くださいました個人・法人・団体様で
掲載をご了承いただいた方のご芳名(50音順)を掲載させていただきます。
今後とも福井大学基金へより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

福井大学基金の寄附状況 (平成28年6月15日現在) 寄附申込数 1,751件(延べ数) / 寄附申込額 1億1,116万5,985円

個人

阿部啓二郎 様
青木 正義 様
飯塚 勇輝 様
池田 隆 様
石丸 敦士 様
泉 和篤 様
磯貝 俊貴 様
板倉 昇 様
伊藤五三郎 様
岩本 博文 様
上木 孝一 様
上田 洋士 様
梅本 修 様
漆崎 照道 様
恵美 英丸 様
大石 忠彦 様
大久保 宏 様
大崎 寔義 様
大島 寿治 様
大野 昌信 様
岡田 貞夫 様
岡田 幸隆 様
岡松 正美 様
荻野 輝雄 様
甲斐 博人 様
鍵谷 昌一 様
笠松 佳晃 様

桂田 秀次 様
加藤 英樹 様
川米 昭申 様
川上 英男 様
川崎 和良 様
川崎 紀彦 様
河瀬 里美 様
木瀬 雅博 様
窪田 正明 様
久保田康弘 様
熊谷 豊 様
栗田 謙一 様
黒田 健嗣 様
黒田 博英 様
桑原 幸夫 様
河野 康 様
児玉 和人 様
児玉 國雄 様
後藤 純一 様
後藤 壽恵 様
小松 幸史 様
坂根 遼 様
笹木 俊男 様
佐藤 博一 様
佐野 俊男 様
澤田 茂晴 様
芝 健治 様
嶋川 敏夫 様
清水 禎二 様

新野 孝夫 様
高木 仁志 様
高橋 忠彦 様
高橋 久和 様
竹川 晴雄 様
竹川 博康 様
田尻 一郎 様
田中 邦夫 様
田中 國雄 様
田中 万葉 様
田中 元彦 様
田中 優衣 様
知念 達宏 様
塚本 省二 様
塚本 昭雄 様
坪田嘉奈弥 様
寺岡 英男 様
遠山武羅夫 様
徳留 正満 様
徳本 茂 様
外村 正之 様
永井 崇司 様
中田 隆二 様
長濱 豊 様
中村 純一 様
中村 道雄 様
中山 博之 様
苗村 清文 様
西川 有代 様

西澤 節男 様
西沢 千秋 様
野口 和揮 様
野条 良彰 様
橋本 知明 様
橋本 秀則 様
橋本 正章 様
長谷川 要 様
長谷川良行 様
早見 宏之 様
兵藤 慎也 様
平林 俊 様
藤川 裕将 様
藤田順吉朗 様
藤田 通亘 様
堀 熙一 様
松木 健一 様
松田 慶光 様
松村 健児 様
松本 隆 様
水田 稻吉 様
道端 信治 様
峰田多喜郎 様
宮井 昭信 様
室戸 實 様
森 透 様
柳 肇 様
柳澤 昌一 様
山岸 一樹 様

山岸 健 様
山口 智鶴 様
山地 修己 様
吉野 浩行 様
吉光 克弘 様
若杉 高正 様
和田 武之 様
和田 竜也 様
渡辺 晶代 様
渡辺 啓和 様
和田 武之 様
和田 竜也 様
渡辺 晶代 様
渡辺 啓和 様
ほか 匿名希望の方
30名

法人・団体

旭電設株式会社 様
株式会社高島鉄工所 様
株式会社パンフィック
テクノロジー 様
株式会社八木熊 様
小林化工株式会社 様
サンマテリアル株式会社 様
野村證券株式会社 様
福井鐵工株式会社 様
福井放送株式会社 様
ほか 匿名希望1件

福井大学基金の詳細については、
福井大学HPをご覧ください。
<http://www.u-fukui.ac.jp/kikin/>



福井大学基金についてのお問い合わせ先

福井大学基金事務局 〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9-1
TEL 0776-27-9903(ダイヤルイン) FAX 0776-27-8518 E-mail kikin@ad.u-fukui.ac.jp

助成事業

学会助成(年間40件)
献体助成
小児患者クリスマスプレゼント
クリスマスツリー等の助成等

総合的に管理し、
サポートします。

ローソン・窓口総合サービス(A棟)



ヘアサロン



職員食堂



レストラン「Wing」



ローソン・薬店(B棟)



ムチカフェ(ローニン)



自動販売機
管理運営事業

駐車場管理運営事業



病室テレビ
床頭台事業

くずりゅう会館
管理業務
(非常勤講師宿泊施設)

福和会

その他、各種注文も承ります

- ◎慶弔用花輪・生花
(福和会割引10%OFF)
- ◎お祝い用胡蝶蘭・花束の予約
- ◎会議用ケーキ・コーヒー
- ◎各種弁当
- ◎パーティーオードブル
- ◎ナースシューズ・カーディガンなど

一般財団法人 福和会

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3 福井大学医学部附属病院内
TEL.0776-61-1785 FAX.0776-61-3859 内線.松岡3841